

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第8号 畜産

発行日 平成21年10月29日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 019-688-5525)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

岩手県の牧草播種基準が改正されました。

基幹草種及び補助草種の播種組み合わせは、極力シンプルな構成とし、管理しやすく生産性の高い草地を目指しましょう。

マメ科牧草の混播により、草地のタンパク質やミネラルなどの飼料品質の向上を図りましょう。

1. イネ科基幹草種、補助草種の組み合わせについて

昭和50年代の草地管理指標では、「混播の草種組み合わせは、基幹草種(オーチャードグラスやチモシー等)に補助草種(イタリアンライグラスやトールフェスク等)の多数草種を組み合わせる」ことで、その中から地域の気候風土に合った草種の選抜・定着を計ることを期待した混播方式が薦められておりました。

しかしながら、このように出穂時期や再生速度の異なる草種が存在する場合、出穂の早い草種(オーチャードグラスなど)の収穫適期に草地を利用すると遅い品種(チモシー等)の永続性が悪化し、逆に遅い草種に合わせると早い品種が刈り遅れとなり牧草の品質が悪化する等の問題が生じておりました。

このため、現在では、多数の草種を混播しても草種構成を適正に維持することは困難であるので、組み合わせる草種は少なくし、あるいは単播草地を準備することが奨励されています。

草地を造成・更新される場合は、組み合わせる草種を利用目的に合わせ極力シンプルにしましょう。

2. 早晩性の品種組み合わせ

同じ草種のなかでも品種によって早晩性が異なります。

例えばオーチャードグラスの極早生品種「アキミドリ」と晩生品種「オカミドリ」では約2週間、チモシーの「クンプウ」と「ホクシュウ」では出穂時期に約一ヶ月の開きがあります。

これら早晩性の異なる品種を同一圃場に混播することもお勧めできません。

もし、収穫適期を拡大するために利用時期の異なる品種を導入する場合は、圃場毎に早晩生を合わせてそれぞれの収穫適期を守りましょう。

3. マメ科牧草の混播について

草地は、生産性の向上、維持年限の延長、栄養バランスの点から、イネ科・マメ科の2種以上の草種を混播するのが普通です。特にイネ科とマメ科の混播は、マメ科牧草によるタンパク質やミネラル等の飼料品質の向上、空中窒素の固定による地力の向上が図られるなどの利点があります。

但し、マメ科牧草にも以下のとおり草種・品種があり、それぞれ利用されるべき場面が異なりますので注意が必要です。

(1) アカクローバ

採草専用。タンパク質含量が高く、イネ科牧草との競合に比較的強いです。

しかしながら短命で、3～5年程度で自然に消失します。また、乾燥しづらく、大量に混入すると乾草調製は難しいです。

多回利用で消失しやすくなるので、年2～3回利用のチモシー草地との混播がよいです。

近年、作溝式簡易草地更新機を利用した既存草地への追播技術が進められています。特異的に高タンパクな粗飼料生産を目指す場合のみの利用とします。

(2) シロクローバ

葉(小葉)の大きさにより「ラジノ(大葉型)」、「コモン(中葉型)」、「ワイルド(小葉型)」に類別されます。

「ラジノ」(カリフォルニアラジノ等)は採草専用で、イネ科牧草との競合に比較的強く、短草利用で優占することから、放牧利用では鼓張症が発生する恐れがあります。

「コモン」(フィア等)は採草・放牧兼用です。

「ワイルド」(リベンデル等)は競合に弱いので、採草利用は難しく放牧専用となります。

4. 新しい岩手県の牧草播種基準

牧草混播組み合わせの適正化を図るため、岩手県ではこれまでの試験研究成果及び他県の事例等を参考に今年度に新しい播種基準を策定しました。

今後、草地更新を計画されている方は是非ご参考にしてください。

牧草種子播種基準

(改訂:平成21年7月24日付け畜第547号)

区分	草種	播種量(kg/ha)	品種	備考		
採草地	オーチャードグラス 主体草地	オーチャードグラス	20	アキミドリ、キタミドリ、オカミドリ、ホトマツク、フロンティア、ハッカス	乾草利用が主体の場合は、乾燥し難いペレニアルライグラスを削除する。アカローバは、持続性に乏しく乾燥し難いことから、高タンパクな飼料の確保の場合などを除き、適宜削除する。	
		ペレニアルライグラス	4	フレンド		
		シロクローバ(大葉型)	2	カリフォルニアラジノ		
		計	26			
	チモシー 主体草地	チモシー	15	クソブウ、ホライズン、ノサブ、ホクシュウ、ホクセイ、クライマックス		
		ペレニアルライグラス	4	フレンド		
		シロクローバ(中葉型)	2	フィア		
		アカクローバ	3	マキミドリ		
	計	24				
	アルファルファ	アルファルファ	15	[マキカバ]、[ヒサカバ]		アルファルファ単播の場合は、播種量を20kg/haとする。
		オーチャードグラス	5	オカミドリ、ハッカス		
		計	20			
採草・放牧兼用草地	オーチャードグラス 主体草地	オーチャードグラス	20～25	アキミドリ、キタミドリ、オカミドリ、ホトマツク、フロンティア	必要に応じ播種量を調整すること。 メドウフェスクは、夏から秋の草量確保のための補助草種として利用する。	
		メドウフェスク	5～8	[ツグロ]、[ハルサカエ]		
		シロクローバ(中～小葉型)	3	フィア、[リベンデル]		
		計	28～36			
	チモシー 主体草地	チモシー	20	ホクシュウ		
		メドウフェスク	5～8	[ツグロ]、[ハルサカエ]		
		シロクローバ(中～小葉型)	3	フィア、[リベンデル]		
		計	28～31			
放牧地	オーチャードグラス	20～25	アキミドリ、キタミドリ、オカミドリ、ホトマツク、フロンティア			
	ペレニアルライグラス	5	フレンド			
	メドウフェスク	5	[ツグロ]、[ハルサカエ]			
	シロクローバ(小葉型)	3	[リベンデル]			
	計	33～38				

1 []は県奨励品種でない。
2 早晚性を考慮し、現地に適した品種を選択すること。
3 現地の状況に応じ適宜変更すること。

農作物技術情報の21年度定期発行は今号で終了となります。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間
「気をつけて」朝のひと声で 初心忘れず ゆとりの仕事